

1 校訓

「元気に明るくともに学ぶ子」

2 教育目標

「自ら学ぶ意欲と 他を思いやる優しい心を持ち
未来をたくましく生きる東っ子の育成」

めざす子ども像

【自ら考え表現する子、自分も友だちも大切にする子、
体を鍛え粘り強くやり抜く子】

—かんじる・つながる・自分から—

- 学びの楽しさを知り、積極的に自分の考えを持ち学習する子
(主体的に学ぶ意欲)
- 自分から進んであいさつができ、人との対話を楽しむ子
(コミュニケーション能力の育成)
- きまりを守り、人となかよくする子 (公共心と人権尊重の精神)
- 心身の健康を保ち、元気に活動する子 (心身の自己管理)

3 経営方針

- (1) 教育目標の具現化に向けて、全教職員が共通理解し協力する。
- (2) 教職員の指導力向上を目指して、研究推進体制を整え、研修に励む。
- (3) 地域の未来を担う子どもを育てるため、情報を発信し、家庭・地域と連携する。

4 努力目標

- (1) 学級経営の充実
 - ・児童理解を大切にし、信頼関係に基づく学級づくりに努める。
 - ・自他を認め合い、思いやりのある温かい学級集団をつくる。
- (2) 学習指導の充実
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の視点で、授業改善の工夫を図る。
 - ・基礎基本の定着、体験的・問題解決的な学習を通して、確かな学力を養う。
 - ・播磨東地区小学校国語教育研究大会のテーマを「主体的に学び、協働的な読みを活かして、適切に表現する力の育成」とし、指導の充実に努める。
- (3) 道徳教育の充実及び福祉教育の推進
 - ・生命尊重をはじめとする人間尊重の精神を培うとともに、自尊感情を育てる。
 - ・他を思いやる心、ともに生きる心を育み、福祉の精神を涵養する。
- (4) 外国語教育の推進
 - ・主体的に外国や外国語に興味をもち、他国の歴史や文化を尊重する力を養う。
- (5) キャリア教育の推進
 - ・各教科等の特質に応じて、教育活動全体でキャリア教育を充実させるとともに、特別活動(学級活動)を、それらをつなぐ要の役割として機能させる。
 - ・キャリア発達を促す様々な学習経験や活動の記録として、「キャリア・パスポート」を効果的に活用する。
- (6) 特別活動の充実
 - ・集団生活や体験的な活動を通して、より良い生活や人間関係を築こうとする態度を育成する。

- ・児童の自主性や創意工夫を生かした学級活動や児童会活動の中で異年齢交流活動（縦割り班活動）を進め、児童の自己有用感の高揚に努める。
- (7) 総合的な学習の時間の充実
- ・横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、主体的に問題を解決する資質や能力の育成を図る。
- (8) 生徒指導の充実
- ・QUアンケートをはじめとする各種アンケートの実施、分析、共通理解により一人一人の児童理解と、教職員と児童の人間的な関わりを基盤とし、学校全体で組織的、計画的に児童理解に取り組む。
 - ・学校生活のすべての場面で発達段階に応じた自己指導能力を育成する。
 - ・「いじめ防止基本方針」をもとに、校内指導体制を整え、早期発見と適切な対応に努め、児童の命と安全を守る。
 - ・「魅力あるよりよい学校づくり」を軸とした不登校の未然防止、居場所づくりの充実に努める。「不登校対策支援プラン」の作成、見直しによる組織的、計画的な不登校対策に努める。
- (9) 特別支援教育の推進
- ・一人一人の多様な教育的ニーズを把握し、自立と社会参加を目指した教育活動を進める。
 - ・インクルーシブ教育システム構築に向けた取組を進めるとともに、合理的配慮のための体制を整備する。
- (10) 人権教育の推進
- ・共に生きる社会の構築に主体的に取り組む意欲と態度を育てる。
 - ・多様な文化的背景をもつ人々を理解し、豊かに共生しようとする心を育む。
- (11) 防災・安全教育の推進
- ・災害から自ら命を守るための能力や態度を育てる。
 - ・児童の安全確保の視点から、危機管理体制を常に点検・確認し非常時に備える。
 - ・安全・安心な登下校をめざし、PTA・地域と連携を図る。
- (12) 健康教育と安全教育の充実
- ・安全に注意しながら、運動する楽しさを体験させ、基礎体力の向上を図る。
 - ・食育を通して健全な心と体を育てるとともに、健康で安全な生活を送るための素地をつくる
- (13) 情報教育の推進
- ・情報機器の積極的な活用を通して、情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラルの向上に努める。
 - ・各教科等において、「プログラミング的思考」を育成するプログラミング教育を推進する。
- (14) 国際理解教育の推進
- ・自国の伝統や文化を尊重するとともに、異なる文化や歴史、伝統に敬意を払う態度を養う。
 - ・国際社会の一員となる自覚を促し、主体的に行動する力を育てる。
- (15) 環境教育の実施
- ・自然を尊び大切にすることを養い、環境適合型社会の実現に向けた実践力を身につけさせる。